

園芸農業を核とした農業クラスター形成のための支援策の充実

提言9 IoT・AI技術を活用した地域内高度生産技術システム開発への支援

政策提言先 農林水産省

政策提言の要旨

園芸産地を維持・拡大するためには、従来の経験と勘に基づく栽培管理から客観的なデータに基づく栽培管理へと、これまで以上の低コスト・高品質・高収量生産を図り、農業クラスターの形成など競争力のある力強い産地に転換することが喫緊の課題です。

そこで、今まで以上に、省力化・高品質化・高収量化を構築するために必要な新たな情報管理システム（IoT・AI技術）開発への支援、及び、これらの技術を活用できる人材育成への支援を提言します。

【政策提言の具体的内容】

1 IoT・AI技術を活用した地域内高度生産技術システム開発への支援

導入した機器により収集したビッグデータを管理・分析して、栽培管理へフィードバックさせるシステムや、出荷予測等に活かせる情報管理システムを開発するために必要な取り組みへの支援事業の創設を提言します。

2 IoT・AI技術を活用するための人材の育成

IoT・AI技術を活用できるスキルを持った指導者（革新支援専門員、営農指導員等）を育成するための研修制度、また、外部の専門家の活用を図る制度の創設を提言します。

【政策提言の理由】

1 IoT・AI技術を活用した地域内高度生産技術システム開発への支援

- ・ 本県では、平成28年7月、企業や試験研究機関などで構成する「高知県IoT推進ラボ」を設立しました。
- ・ 具体的な活動として、生産性の向上のため、ハウス内の炭酸ガスなどの環境データに加えて、作物の光合成量や生育量などのデータを見える化することや、作業の効率化や労働負担の軽減のため、圃場ごとの気象状況、農作業記録等の蓄積・分析などの取り組みを進めています。
- ・ しかしながら、IoT・AI技術を活用した課題解決を行っていくためには、多額の開発費用がかかることから、これらのシステム開発を支援する事業の創設が必要です。

2 IoT・AI技術を活用するための人材の育成

- ・ 栽培管理に関する様々な情報を見える化し、生産性のさらなる向上や、篤農家の優れた栽培管理技術を後継者へ技術伝承する、などに繋げるためには、IoT・AI技術の導入が有効です。しかしながら、農業分野においてIoT・AI技術を活用できる人材は限られることや、専門家のアドバイスを受ける機会が極めて少ない状況となっています。
- ・ このため、IoT・AI技術に関する研修制度や専門家の活用を図る制度が必要です。